

スペイン語における電子機器関連の略語に関する考察 — CREA を用いて —

Una consideración sobre las siglas tecnológicas e informáticas del español – con ayuda de CREA –

泉水 浩隆

SENSUI Hirotaka

1. 序

1. 1 研究の動機 – 3つのキーワード

本論は、「電子機器関連の語」、「略語」、そして「コーパス CREA」の3つをキーワードに、Real Academia Española (RAE) のコーパス CREA (Corpus de Referencia del Español Actual) を用いて、英語を起源とする電子機器関連の略語がスペイン語に取り入れられる際、性がどのように扱われているか、またそこに地域的特徴が見られるかという点に注目して考察を行う。

はじめに、なぜこのようなテーマを見てみようと考えたのか、上述の3つのキーワードを軸にまとめてみたい。

まず、「電子機器関連の語」について、コンピューター関連技術の発達により、この分野には新しい語が次々と生まれている。また、このうちの大部分は英語起源の語によって占められている。現代における技術の発達速度は非常に速く、新しい語が翻訳されずそのまま他の言語に入り込むのも珍しいことではない。日本語にも英語起源のカタカナ語が多数取り入れられており、また、スペイン語でも、英語起源の用語や略語はさまざまな場面で使われている。ただ、スペイン語においては、例えば、日本語では日常的に使われる「ハードディスク」という語も、disco duro と訳した形が用いられる、というように、英語をそのままの形で取り入れることは日本語よりも少ないように思われる。これについて、Sampedro Losada (2000) は、コンピューター関連の用語はできるだけ対応するスペイン語の用語に直して受け入れるべきではないかと述べている。とは言え、英語起源の用語をそのままの形で使わずに済むかという点、Sampedro Losada 自身も認めているように、やはりそれは難しいようで、¹⁾ 例えば、Internet などという語は日常ごく普通に使われている。

そこで問題になるのは、英語という文法上の性の区別を持たない言語から入ってきた新語をスペイン語がどのように受容するのか、という点である。英語起源の新語をスペイン語本来の語でどう置き換えるのか。そのままの形で受け入れるのか。もしそのまま受け入れるとしたら、文法上の性はどのような扱いを受けるのか。今回このテーマを扱ってみようと思った直接のきっかけがこの点である。

次に「略語」であるが、電子機器関連の話題では、例えば、「中央処理装置」と言うかわりに CPU、「大規模集積回路」と言うかわりに LSI というように、略語が多く登場する。日本語では、文法上の

性や数の変化を考慮する必要がないので、通常の文章の中に英語起源の略語をそのまま取り入れることができる。ところが、スペイン語の場合、性数一致を意識しなければならない場面が随所に出てくるため、どこかで略語の性や数を考えておかねばならない。にもかかわらず、略語はスペイン語の語彙としては考えにくい音連鎖や語尾になっていたりすることも多く、通常の外来語以上に性決定を行うための手がかりに欠ける。このような場合、性決定はどう行われるのだろうか？

こうした点を観察するのに最も有用だと思われるのが、3つめのキーワードでもある、コーパスの利用である。ある外来語が男性名詞扱いされるのか、女性名詞扱いされるのか、やはり事例に当たってみなくては何とも言えないだろう。しかも、少数のネイティブに聞いただけでは判断が偏る可能性もあるので、できるだけ多くの事例を探す必要がある。このような時、以前なら、さまざまな文書から少しずつ該当する事例を拾う、という根気のいる作業が要求されたが、現在では、幸いなことに、情報処理技術の発達によって、さまざまな角度からデータを抽出できるコーパスが身近になった。今回は、上述の点について、現代スペイン語のコーパス CREA を用いて調査したことを報告したい。

2. 先行研究

2. 1 コーパス言語学

齋藤・中村・赤野（1998:3）では、言語資料（コーパス）を使った新しい言語研究法である「コーパス言語学」は、コンピューター、特にパソコンの発達・普及とともに最近急速に興隆してきた分野で、1960年頃から始まったものだと指摘されている。また最近の動向として、a) 標識付きコーパスなど、コーパスへの情報付与、b) 語数が億単位になるような、コーパスサイズの大規模化、c) 話し言葉、特殊目的など、コーパスの種類が多様化、が挙げられると述べている（齋藤・中村・赤野、1998:9）。現代の英語コーパスとして代表的なのは、1980年代に Birmingham Corpus として編纂が始まって、現在も更新が続き、3億語以上のエントリーを持つ Bank of English と 1991年から構築が始まり、約1億語のエントリーからなる British National Corpus であるとのことである（鷹家・須賀、1998:76-87）。

CREA はこのような流れの中で作られたスペイン語に関する最大のコーパスと言えるだろう。Zamora Vicente (1999: 573-575) では、RAE で言語の通時的・共時的データベースを作成することになった目的や要した費用などが説明されているが、このうち、共時的データベースが今回用いたコーパスである。CREA は、前述の Bank of English と British National Corpus をモデルとしたもので、1億語のエントリーを持っており、将来的には2億語まで拡張可能とのことである。収録されたテキストは書き言葉・話し言葉の双方、スペイン及びスペイン語圏各国で割合は1対1、7つの大分類（科学技術・社会科学・政治経済・芸術・日常生活・健康・フィクション）、出現メディア別（書籍・ジャーナリズム）、記録された国などのデータも収録されている。文法タグもつく予定であると報告されている。一方、通時的コーパスとして、CORDE (Corpus Diacrónico del Español) も利用可能となっているが、

こちらは今回の研究とは直接関係しないため、ここではこれ以上触れない。いずれにしても CREA は最近のコーパス研究の動向と合致する性質を備えたコーパスと言えよう。

2. 2 外来語の受け入れに関する特徴（性について）とその一例

それでは、実際に CREA で、web という具体例を用いて、英語からスペイン語に入った語がどのように受け入れられたか見てみよう。

村上（2002: 16）によれば、スペイン語の中に現れる英語借用語の記号表現には、chance, night club などのように、英語の記号表現が何の変化も受けずそのまま取り入れられている場合と、スペイン語への同化が見られる場合があると指摘している。さらに後者には、béisbol のような「音声書記的同化」、box が boxear となる場合のような「形態的同化」、basketball を baloncesto とするような「語彙的同化」の3種があると述べている。今回はこのうち、そのまま取り入れられている場合に注目したいのだが、村上（2002: 22-23）は、このような語彙のうち、調査対象者中、異なる話者または同一話者の回答に性のゆれが観察された語を分析し、その結果を次の4項目にまとめている。(1) 形態的もしくは意味的に性が示されないためにゆれが生じる場合（例：sexy, hippy, líder, manager）、(2) ゆれがあっても、どちらかの性が圧倒的に支持されている場合（例：canal, doble, dog, marketing, penthouse, van）、(3) 調査方法が不明確なためにインフォーマントが的確な判断ができなかった場合（例：durmiente, grill, burger, home）、(4) 借用語としての社会的認知度・定着度が低い場合（例：grape, grape-fruit, morse）。コンピューター関連の語としては、disquete, internet, e-mail, escáner, laser, chat, chip, software, mail, hardware, bit, Website, site, web の14語を調査し、この中で internet と web の2語のみに性のゆれが見られたと報告した上で、ゆれと定着度の関連性を指摘している（村上、2002: 24-25）。²⁾

では、ここで報告のあった web という語の性がどう扱われているか CREA で実際に確認してみる。【付録1】のグラフ1を見ると、男性名詞として扱われている例が31%、女性名詞として扱われている例が69%、女性名詞としてとらえられる方が優勢であるように思われるものの、それでもかなりゆれがあることが分かる。また、スペインやベネズエラ、メキシコではどちらの性の出現例もある一方、ペルーでは男性の出現例のみ、アルゼンチンでは女性の出現例のみが見られることから、地域的な差異がありそうなこともうかがえる（【付録1】グラフ2・グラフ3参照）。³⁾

2. 3 略語の特徴

最後に、略語について、Casado Velarde（1999: 5080-5081）によれば、近年特に急速に語彙の中に入り込みつつある現象で、新聞や雑誌と同様、科学技術分野でも多く使われているとの指摘がある。略語は art. のように書いてあっても、声に出して読む場合は artículo と本来の形に戻して読むのが通例であるが、最近では ONU や BOE のようにそのまま、あるいは FM のようにアルファベットを1文字

ずつ読む、また CD-ROM のようにその両方の方法を混在させて読むことも多くなっていると述べている。こうなると、TALGO などのように語源がよく分からないまま用いられるものが出てくることになり、外来語の場合、その不明の度合いはさらに高くなると指摘している。一方、“*Toda sigla tiene un género y número determinados, que podríamos llamar etimológicos: los del sustantivo núcleo del sintagma que constituye su base*”とも述べている (1999: 5083)。

3. 調査

3. 1 調査対象—電子機器関連の略語

今回、調査対象としたのは以下の略語である。スペイン語訳は、いくつか異なる言い方がある場合もあるようだが、ここでは Alarcón Álvarez (2001) に掲載のものを引用した。⁴⁾

ADSL: asymmetric digital subscriber line / línea digital de suscripción asimétrica (非対称デジタル加入者回線)、BBS: bulletin board system / sistema de tablero de anuncios (電子掲示板システム)、BIOS: basic input output system / sistema básico de entrada y salida (基本入出力システム)、CMOS: complementary metal oxide semiconductor / semiconductor complementario de óxido metálico (相補形金属酸化膜半導体)、CPU: central processing unit / unidad central de proceso (中央処理装置)、GPS: global positioning system / sistema de posicionamiento geográfico (全地球測位システム)、HTML: hypertext markup language / lenguaje de marcas de hipertextos (HTML)、WWW: world wide web / gran red mundial (WWW)、PC: personal computer / ordenador (computadora/computador) personal (パソコン)

3. 2 調査方法

CREA で上記の各語を検索・抽出した後、それらが使われているパラグラフを参照して、別の意味を持つ略語など分野違いのものは取り除き、頻度表にまとめた。この中で PC については、CREA 全体から検索するとかなり数が多くなってパラグラフ参照が不可能になってしまうこと、また、分野限定をかけないと p に partido (政党) を表す略語が引かかかってしまうことなどから、el (del や al として出てくる場合も含む) や los、un、unos または la、las、una、unas などが付いていて、かつ、科学技術分野に出てくる PC のみを対象とした。そのため、PC は他の語とは別の扱いにしたい。

頻度表にまとめる際、まず、lenguaje HTML のような場合は、略語が形容詞的役割を持っているのではないかと考え、修飾される語の前に置かれている場合は前置、後ろに置かれている場合は後置という項目を作って分類した (実際には前置は 1 ケースも記録されなかった)。これ以外の場合は、名詞的役割を持つものと考え、当該の略語に関する冠詞・形容詞・動詞の活用形などから判断して、男性または女性、単数または複数に分類した。また、冠詞がついていない場合は無冠詞単数・無冠詞複

数とし、また、性を判別する手がかりのない場合や、限定詞が付いていても、性別判断不能な場合（例えば、su ADSL など）については、判断不能単数・複数のいずれかに分類した。

3. 3 調査結果

3. 3. 1 PC を除く 8 つの略語

はじめに、PC をのぞく 8 つの略語について観察したい。まず、スペインにおける用法であるが（【付録 2】 España の項参照）、女性名詞として扱われている割合が際だって多いのが、BBS、WWW、それに CPU である。ただし、BBS については、スペインの用例としては 5 例しかなかったため、一般化するのには難しいかと思われる。一方、WWW や CPU は頻度も比較的高いので、女性名詞としての扱いが優勢だと言えよう。これに対し、ADSL、GPS は男性名詞として扱われる割合が高くなっている。興味深いのが BIOS で、男性名詞として扱われる割合と、女性名詞として扱われる割合がほぼ拮抗している。また、CMOS、HTML は名詞に後置される用例、あるいは無冠詞で使われる割合が多くなっている点も注目すべきだろう。男性名詞として扱われる ADSL、GPS にも類似の傾向が見られる。

次に、イスマノアメリカにおける用例を見てみよう（【付録 2】 Hispanoamérica の項参照）。全体の出現頻度がスペインに比べると少ないので、どこまで傾向として述べるのが可能か難しいところだが、WWW に女性名詞として使われている例が多いことを除くと、全般に男性名詞として、あるいは無冠詞で使われている例が多いようである。また、ADSL、GPS、HTML は名詞に後置される出現例の割合も高くなっている。ただし、全体で ADSL は 13 例、HTML は 7 例と出現数が少ないので、その点は考慮に入れておく必要があるかと思われる。

また、スペイン・イスマノアメリカ双方で、複数として使われている例は非常に少ない。

3. 3. 2 PC

今回、非常に興味深い結果が得られたのが、この PC である（【付録 3】 参照）。まず、PC 全体で見ると、男性名詞として扱われる割合が 86%、女性名詞として扱われる割合が残りの 14% である（【付録 3】 グラフ 1）。国別の割合で見ると、PC を男性名詞として扱っているのは主にスペイン、次いでコロンビアで（【付録 3】 グラフ 2）、女性名詞として扱っているのは上からメキシコ、アルゼンチン、ニカラグア、という順になっている（【付録 3】 グラフ 3）。また、この 2 つのグラフから分かるように、その両方に入っている国は少ない。

4. 考察

それでは、以上のデータについて、考察を加えたい。

まず、スペインで CPU および WWW、イスマノアメリカで WWW が女性名詞扱いされる割合が高

いという点について、これはやはり CPU の U の unit にあたるスペイン語 *unidad* が、また、WWW の web に対応する *red* が女性名詞であるから、という点が強く影響しているのではないかと思われる。

また、PC について、*ordenador* と *computadora*、*computador* という語の使われている地域や頻度と、PC のそれとを比較してみると、興味深いことが分かる（【付録 4】参照）。まず、PC を男性名詞として扱っている割合は 86%、女性名詞として扱っている割合は残りの 14% であるということは前述した通りだが、「コンピューター」という語を *ordenador* または *computador* という男性名詞で表している割合は 69%、*computadora* という女性名詞を使用している割合は 31% で、PC に比べると男性名詞の占める割合がやや下がるものの、男性名詞扱いが優位な点は共通している（【付録 4】グラフ 1）。また、*ordenador* は主にスペインで使われ（【付録 4】グラフ 2）、*computador* はチリ、ペルー、コロンビアで多く使われている。これに対し、メキシコやアルゼンチンでは *computadora* が多用されている（【付録 4】グラフ 5）。*computadora* はスペインでも使われているし、実際、頻度数の国別順序でもスペインは上の方に来ているが、*ordenador* の頻度 4591 回と比べると *computadora* の頻度は 448 回とほぼ 10 分の 1 にとどまっており、スペインでは *ordenador* の方がはるかに優勢であると言えるだろう。

ここで、PC を男性名詞扱いしている国と女性名詞扱いしている国のトップを思い出してみると、前者はスペイン、コロンビアで、後者はメキシコ、アルゼンチンである。ということは、*ordenador* あるいは *computador* が優勢な国では PC は男性名詞扱いであり、*computadora* が優勢な国では女性名詞扱いである、と言えるのではないだろうか。従って、略語になっても、それに対応する元の語の持つ性が略語の性を判断する際に影響を与えている可能性があるように思われる。

それでは、スペインにおいて、BIOS の性にかかなりのゆれが見られるのはなぜなのだろうか？ BIOS は basic input output system なので、system にあたるスペイン語の *sistema* という男性名詞の影響で男性という扱いをされてもよいように見える。しかし同時に、BIOS は ROM の一種なので、memory に対応する *memoria* が女性名詞であることが影響しているという考え方もある。この 2 つの扱いがあるため、性のゆれが見られるのではないだろうか。⁹⁾

CMOS や ADSL、HTML といった語が形容詞的に用いられている点については、新しくてまだあまり馴染みがない、聞いたり読んだりしただけではどのような類のものか見当が付かないと受けとめられる場合にそうした扱いがなされるのではないかと思われる。例えば PC の場合、CREA のデータでは 1986 年頃から記録されており、それ以降もコンスタントにかなりの数のエントリーがある。1986 年から既に 20 年が経過し、PC が表す対象物自体も一般に普及して、普通名詞的に使われるようになったため、性も安定し、また、多くのエントリーが見つかるのだろう。一方、HTML は最初の記録が 1995 年、ADSL は 2000 年と比較的新しいものであり、また、CMOS は最も早い記録で 1982 年に 1 件あるものの、その後は 1988 年に 8 件、2004 年に 4 件ある他は、散発的に記録されるにとどまっている。いずれもまだ一般に十分普及した語彙になっていないのではないかと考えられ、このような場合、

略語が何を表しているのかははっきりさせるために名詞に後置され、形容詞的に使われるのではないだろうか。

また、略語が冠詞や限定詞なしで使用されている場合は、冠詞を伴わず、かつ、大文字で書かれる Internet などの場合と同様、固有名詞的に使っていると考えられるであろう。

5. 問題点と課題

それでは、以上の分析の問題点と今後の課題を念頭に置きながら、まとめに入りたい。

今回、CREA を用いて略語の分析を試みたが、思った以上に頻度が低く、どこまで一般化できるか不安は否めない。今後、分析対象の数を増やして、これまで見てきたような傾向が確かめられるか、また、他にどのような可能性があるか、確認してみたいと考えている。

また、CREA は数量的な言語研究を行うための貴重なデータベースであり、言語の研究者にとって今後ますます重要度を増していくと思われるが、現時点ではいくつか難点がある。例えば、今回 LAN (local area network) も分析の対象にしようと考えたのであるが、チリの航空会社 LAN Chile が同時に出てきてしまうので割愛した。これに限らず、他にも分野違いのものが出てきてしまうので、チェックが欠かせない。もちろん分野限定をかけることは可能だが、得られた出力を見る限り、今のところこれも万能ではない。将来的には行われるとされている文法素性などのタグ付与の実現が待たれる。

さらに、分野によっては、データベースの基になっているテキストの数が限られることがある。ある語・表現について調べた場合、結果が特定のテキスト（つまり特定の筆者）に集中して出力されるケースがあるため、性数の用法がその筆者の使い方に限定されてしまうことがありうるという点は使用上留意しておく必要があるだろう。

最後に、最近のコーパス言語学で試みられているように、統計的な処理方法を考えることで、今回の結果について別の角度から観察することも可能ではないかと思われるが、これは今後の課題としたと思う。

【注】

* 本稿は 2006 年 5 月 13 日青山学院大学青山キャンパスで行われた日本ロマンス語学会第 44 回大会での口頭発表の内容を基に加筆修正を加えたものである。当日貴重なご意見をいただいた先生方に深く御礼申し上げます。

- 1) Sampedro Losada (2000) のウェブページ中にある“¿Son realmente necesarios los anglicismos en informática?” の項参照。
- 2) 村上 (2000) が web の他に性のゆれが見られたと報告している Internet を *Diccionario panhispánico de dudas* で調べてみると、“Funciona a modo de nombre propio, por lo que, en el uso mayoritario de todo el ámbito hispánico, se escribe con mayúscula inicial y sin artículo: ... Si se usa precedido de artículo u otro determinante, es preferible usar las formas femeninas (*la, una*, etc.), por ser femenino el nombre genérico red, equivalente español del inglés *net*” (RAE, 2005: 370) とある。が、「好ましい」と書かれていること自体から実際には性のゆれがあることが推測できるし、また、Yahoo などの検索サイトで参考程度に見ても分かる通り、一般的に使われるようになったと思われる Internet という語ですら、無冠詞という傾向があることは認められても、男性扱い・女性扱いの件数が拮抗していたりするなど、実態はかなり多様なように思われる。
- 3) Sampedro Losada (2000) のウェブページ中にある“1.1.- Anglicismos con o sin artículo. Estudio de dos casos concretos.”の報告では、WWW (World Wide Web) の 105 ケースのうち、36.2%にあたる 38 ケースが男性、49.6%にあたる 52 ケースが女性、14.2%にあたる 15 ケースが冠詞なしで用いられていて、女性の方が優位になっている。その理由として、女性は「ページ」la página、あるいは「世界的電子網」を表す la telaraña mundial を、男性は「サーバー」el servidor、

あるいは「サイト」el sitioを想定しているからではないかと指摘されている。

- 4) 英語および日本語は『英和コンピュータ用語大辞典』（第3版）および『日経パソコン用語辞典 2006年度版』を参照した。
- 5) 江澤（1998: 71）においても、「意味上対応させるスペイン語の単語の性のいかんによっては、母国語話者の間でも男性か女性かの性決定の判断が食い違うことがある」との指摘がある。

【参考文献】

Alarcón Álvarez, Enrique de. *Diccionario de Informática e Internet* (Edición 2002). Madrid: Anaya Multimedia, 2001.

Casado Velarde, Manuel. "Otros procesos morfológicos: Acortamientos, formación de siglas y acrónimos" en *Gramática descriptiva de la lengua española 3: Entre la oración y el discurso* (Dirigida por Bosque Muñoz, Ignacio y Demonte Barreto, Violeta), pp. 5075-5093, Madrid: Espasa Calpe, 1999.

コンピュータ用語辞典編集委員会（編）『英和コンピュータ用語大辞典』（第3版） 東京：日外アソシエーツ株式会社、2001.

江澤照美 「スペイン語の中で使用される外来語—その位置づけと性決定について—」『撰大人文学』第5号, pp. 57-76, 1998.

村上陽子 「ボゴタの教養語にみられる英語借用語の性について」『イスペニカ』46, pp. 15-29, 2002.

日経パソコン（編）『日経パソコン用語辞典 2006年度版』 東京：日経BP社、2005.

Real Academia Española. *Diccionario panhispánico de dudas*. Madrid: Santillana, 2005.

齋藤俊雄・中村純作・赤野一郎 『英語コーパス言語学—基礎と実践—』 東京：研究社、1998.

Sampedro Losada, Pedro José. "Anglicismos, barbarismos, neologismos y "falsos amigos" en el lenguaje informático." <<http://www.ati.es/gt/lengua-informatica/externos/sampedr1.html>> (アクセス日：2006年3月12日)

鷹家秀史・須賀廣 『実践コーパス言語学』 東京：桐原書店、1998.

Zamora Vicente, Alonso. *Historia de la Real Academia Española*. Madrid: Espasa Calpe, 1999.

【資料体】

Real Academia Española: Banco de datos (CREA) [en línea]. Corpus de referencia del español actual. <<http://www.rae.es>> (アクセス期間：2006年2月～5月)

【付録1】

el web

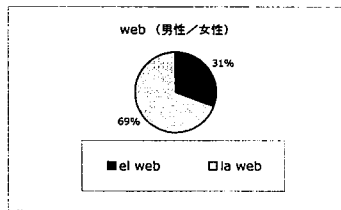
Resultado: 107 casos en 59 documentos.

Año	%	Casos
1997	33.6	36
2000	14	15
1996	12.1	13
1999	12.1	13
2004	11.2	12
2001	5.6	6
1995	4.67	5
2003	3.73	4
1998	1.86	2
2002	0.93	1

Estadísticas		
País	%	Casos
ESPAÑA	32.7	35
VENEZUELA	17.8	19
PERÚ	15	16
EE. UU.	10.3	11
MÉXICO	9.34	10
COSTA RICA	6.54	7
ECUADOR	3.73	4
PARAGUAY	1.86	2
CHILE	0.93	1
Otros	1.86	2
TOTAL		107

Tema	%	Casos
1.- Ciencia y Tecnología.	49.5	53
4.- Artes.	15	16
8.- Miscelánea.	13.1	14
3.- Comercio y finanzas.	10.3	11
2.- Ciencias sociales.	5.6	6
5.- Ocio.	4.67	5
6.- Salud.	1.86	2

(グラフ1)



la web

Resultado: 239 casos en 148 documentos.

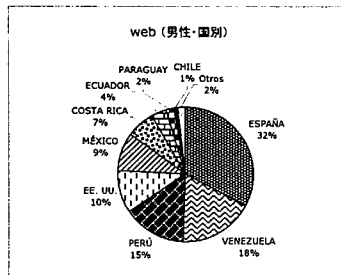
Año	%	Casos
2003	26.4	63
2000	19.7	47
2002	12.1	29
2001	11.3	27
1999	9.62	23
1997	7.94	19
2004	6.69	16
1996	4.18	10
1995	1.25	3
1998	0.83	2

Estadísticas		
País	%	Casos
ESPAÑA	44.8	107
ARGENTINA	17.2	41
MÉXICO	15.5	37
NICARAGUA	7.11	17
VENEZUELA	4.6	11
COLOMBIA	2.92	7
CHILE	2.51	6
URUGUAY	2.51	6
PARAGUAY	1.25	3
Otros	1.67	4
TOTAL		239

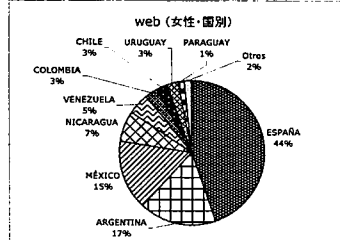
Tema	%	Casos
1.- Ciencia y Tecnología.	45.2	108
4.- Artes.	13.4	32
3.- Comercio y finanzas.	10.9	26
2.- Ciencias sociales.	9.62	23
8.- Miscelánea.	8.78	21
5.- Ocio.	7.53	18
6.- Salud.	4.6	11

TOTAL
el web 107
la web 239

(グラフ2)



(グラフ3)



* el web には el Web / El Web / el web / Ei web. la web には la Web / La Web / la web / La web の形が出現したものを含む。

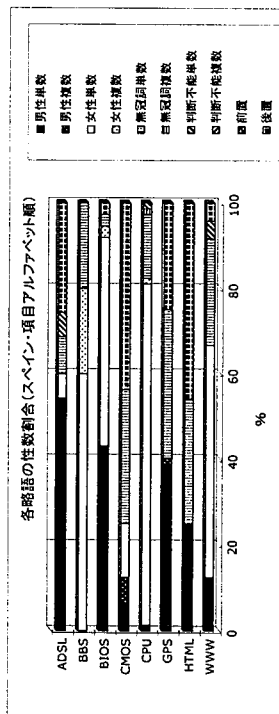
【付録2】

España

Hispanoamérica

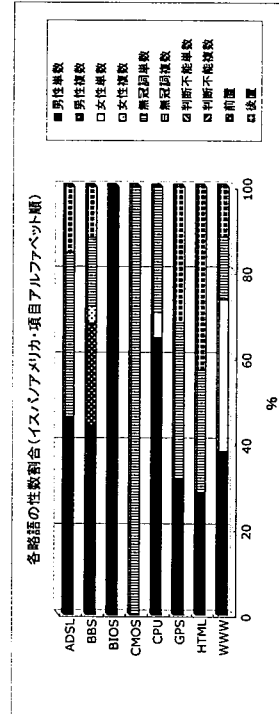
頻度	品詞 名詞	略 語							
		ADSL	BBS	BIOS	CMOS	CPU	GPS	HTML	WWW
	形式	19	0	16	1	1	20	6	3
	男性単数	0	0	0	1	0	1	0	0
	男性複数	2	3	18	2	59	0	0	13
	女性単数	0	1	1	1	1	0	0	0
	女性複数	3	1	1	5	11	18	7	6
	無定詞単数	0	0	0	0	0	0	0	0
	無定詞複数	2	0	0	0	0	0	0	0
	判断不能単数	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断不能複数	0	0	0	0	0	0	0	0
	前置	9	0	1	7	0	13	11	1
	後置	35	5	37	16	74	52	24	24
総計									

%	品詞 名詞	略 語							
		ADSL	BBS	BIOS	CMOS	CPU	GPS	HTML	WWW
	形式	54.28571	0	43.24324	6.25	1.351351	38.46154	25	12.5
	男性単数	0	0	0	6.25	0	1.923077	0	0
	男性複数	5.714286	60	48.64865	12.5	79.72973	0	0	54.16667
	女性単数	0	20	2.702703	0	1.351351	0	0	0
	女性複数	8.571429	20	2.702703	31.25	14.86486	34.61538	28.16667	25
	無定詞単数	0	0	0	0	0	0	0	0
	無定詞複数	5.714286	0	0	0	1.351351	0	0	4.166667
	判断不能単数	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断不能複数	0	0	0	0	0	0	0	0
	前置	25.71429	0	2.702703	43.75	0	25	45.83333	4.166667
	後置	100	100	100	100	100	100	100	100
総計									



頻度	品詞 名詞	略 語							
		ADSL	BBS	BIOS	CMOS	CPU	GPS	HTML	WWW
	形式	6	11	3	0	0	11	7	13
	男性単数	0	0	0	0	0	0	0	0
	男性複数	0	6	0	0	0	0	0	0
	女性単数	0	0	0	0	0	1	0	0
	女性複数	0	1	0	0	0	0	0	12
	無定詞単数	5	4	0	0	2	5	8	2
	無定詞複数	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断不能単数	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断不能複数	0	0	0	0	0	0	0	0
	前置	2	3	0	0	0	0	0	0
	後置	13	25	3	2	17	22	7	34
総計									

%	品詞 名詞	略 語							
		ADSL	BBS	BIOS	CMOS	CPU	GPS	HTML	WWW
	形式	46.15385	44	100	0	64.70588	31.81818	28.57143	38.23529
	男性単数	0	24	0	0	0	0	0	0
	男性複数	0	0	0	0	5.882353	0	0	35.29412
	女性単数	0	4	0	0	0	0	0	0
	女性複数	38.46154	16	0	100	28.41176	36.36364	28.57143	14.70588
	無定詞単数	0	0	0	0	0	0	0	0
	無定詞複数	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断不能単数	0	0	0	0	0	0	0	0
	判断不能複数	0	0	0	0	0	0	0	0
	前置	15.38462	12	0	0	0	0	31.81818	42.85714
	後置	100	100	100	100	100	100	100	100
総計									



【付録3】

el PC

País	%	Casos
ESPAÑA	55.4%	13
MÉJICO	27.3%	6
ARGENTINA	11.8%	3
URUGUAY	5.5%	1
CHILE	5.5%	1
ECUADOR	4.5%	1
PERU	0.3%	0
PARAGUAY	0.3%	0
TOTAL	100.0%	27

un PC

País	%	Casos
ESPAÑA	37.3%	11
MÉJICO	27.3%	8
ARGENTINA	11.8%	4
URUGUAY	5.5%	2
CHILE	5.5%	2
ECUADOR	0.0%	0
PERU	0.0%	0
PARAGUAY	0.0%	0
TOTAL	100.0%	27

los PC

País	%	Casos
ESPAÑA	27.0%	6
MÉJICO	13.0%	3
ARGENTINA	11.8%	3
URUGUAY	5.5%	1
CHILE	5.5%	1
ECUADOR	4.5%	1
PERU	0.3%	0
PARAGUAY	0.3%	0
TOTAL	100.0%	21

los PCs

País	%	Casos
ESPAÑA	27.0%	6
MÉJICO	13.0%	3
ARGENTINA	11.8%	3
URUGUAY	5.5%	1
CHILE	5.5%	1
ECUADOR	4.5%	1
PERU	0.3%	0
PARAGUAY	0.3%	0
TOTAL	100.0%	21

Masculino

País	no PC	los PC	un PC	el PC	TOTAL	%
ESPAÑA	15	12	6	0	33	43.8%
MÉJICO	4	0	0	0	4	5.3%
ARGENTINA	4	0	0	0	4	5.3%
URUGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
CHILE	0	0	0	0	0	0.0%
ECUADOR	0	0	0	0	0	0.0%
PERU	0	0	0	0	0	0.0%
PARAGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
TOTAL	23	12	6	0	41	100.0%

Femenino

País	no PC	los PC	un PC	el PC	TOTAL	%
ESPAÑA	10	0	0	0	10	27.0%
MÉJICO	0	0	0	0	0	0.0%
ARGENTINA	10	0	0	0	10	27.0%
URUGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
CHILE	0	0	0	0	0	0.0%
ECUADOR	0	0	0	0	0	0.0%
PERU	0	0	0	0	0	0.0%
PARAGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
TOTAL	20	0	0	0	20	100.0%

Masculino

País	no PC	los PC	un PC	el PC	TOTAL	%
ESPAÑA	10	0	0	0	10	27.0%
MÉJICO	0	0	0	0	0	0.0%
ARGENTINA	10	0	0	0	10	27.0%
URUGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
CHILE	0	0	0	0	0	0.0%
ECUADOR	0	0	0	0	0	0.0%
PERU	0	0	0	0	0	0.0%
PARAGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
TOTAL	20	0	0	0	20	100.0%

Femenino

País	no PC	los PC	un PC	el PC	TOTAL	%
ESPAÑA	10	0	0	0	10	27.0%
MÉJICO	0	0	0	0	0	0.0%
ARGENTINA	10	0	0	0	10	27.0%
URUGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
CHILE	0	0	0	0	0	0.0%
ECUADOR	0	0	0	0	0	0.0%
PERU	0	0	0	0	0	0.0%
PARAGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
TOTAL	20	0	0	0	20	100.0%

Masculino

País	no PC	los PC	un PC	el PC	TOTAL	%
ESPAÑA	15	12	6	0	33	43.8%
MÉJICO	4	0	0	0	4	5.3%
ARGENTINA	4	0	0	0	4	5.3%
URUGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
CHILE	0	0	0	0	0	0.0%
ECUADOR	0	0	0	0	0	0.0%
PERU	0	0	0	0	0	0.0%
PARAGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
TOTAL	23	12	6	0	41	100.0%

Femenino

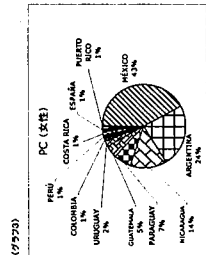
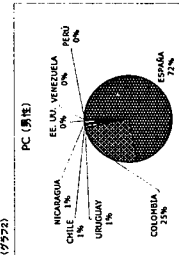
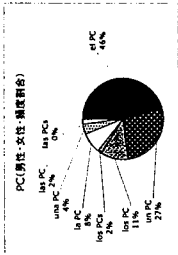
País	no PC	los PC	un PC	el PC	TOTAL	%
ESPAÑA	10	0	0	0	10	27.0%
MÉJICO	0	0	0	0	0	0.0%
ARGENTINA	10	0	0	0	10	27.0%
URUGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
CHILE	0	0	0	0	0	0.0%
ECUADOR	0	0	0	0	0	0.0%
PERU	0	0	0	0	0	0.0%
PARAGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
TOTAL	20	0	0	0	20	100.0%

Masculino

País	no PC	los PC	un PC	el PC	TOTAL	%
ESPAÑA	10	0	0	0	10	27.0%
MÉJICO	0	0	0	0	0	0.0%
ARGENTINA	10	0	0	0	10	27.0%
URUGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
CHILE	0	0	0	0	0	0.0%
ECUADOR	0	0	0	0	0	0.0%
PERU	0	0	0	0	0	0.0%
PARAGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
TOTAL	20	0	0	0	20	100.0%

Femenino

País	no PC	los PC	un PC	el PC	TOTAL	%
ESPAÑA	10	0	0	0	10	27.0%
MÉJICO	0	0	0	0	0	0.0%
ARGENTINA	10	0	0	0	10	27.0%
URUGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
CHILE	0	0	0	0	0	0.0%
ECUADOR	0	0	0	0	0	0.0%
PERU	0	0	0	0	0	0.0%
PARAGUAY	0	0	0	0	0	0.0%
TOTAL	20	0	0	0	20	100.0%



Masculino

País	Casos
ESPAÑA	31
MÉJICO	4
ARGENTINA	4
URUGUAY	0
CHILE	0
ECUADOR	0
PERU	0
PARAGUAY	0
TOTAL	41

Femenino

País	Casos
ESPAÑA	10
MÉJICO	0
ARGENTINA	10
URUGUAY	0
CHILE	0
ECUADOR	0
PERU	0
PARAGUAY	0
TOTAL	20

Masculino

País	Casos	%
ESPAÑA	31	75.6%
MÉJICO	4	9.8%
ARGENTINA	4	9.8%
URUGUAY	0	0.0%
CHILE	0	0.0%
ECUADOR	0	0.0%
PERU	0	0.0%
PARAGUAY	0	0.0%
TOTAL	41	100.0%

Femenino

País	Casos	%
ESPAÑA	10	50.0%
MÉJICO	0	0.0%
ARGENTINA	10	50.0%
URUGUAY	0	0.0%
CHILE	0	0.0%
ECUADOR	0	0.0%
PERU	0	0.0%
PARAGUAY	0	0.0%
TOTAL	20	100.0%

【付録4】

Masculino

País	Casos
ESPAÑA	31
MÉJICO	4
ARGENTINA	4
URUGUAY	0
CHILE	0
ECUADOR	0
PERU	0
PARAGUAY	0
TOTAL	41

Femenino

País	Casos
ESPAÑA	10
MÉJICO	0
ARGENTINA	10
URUGUAY	0
CHILE	0
ECUADOR	0
PERU	0
PARAGUAY	0
TOTAL	20

Masculino

País	Casos	%
ESPAÑA	31	75.6%
MÉJICO	4	9.8%
ARGENTINA	4	9.8%
URUGUAY	0	0.0%
CHILE	0	0.0%
ECUADOR	0	0.0%
PERU	0	0.0%
PARAGUAY	0	0.0%
TOTAL	41	100.0%

Femenino

País	Casos	%
ESPAÑA	10	50.0%
MÉJICO	0	0.0%
ARGENTINA	10	50.0%
URUGUAY	0	0.0%
CHILE	0	0.0%
ECUADOR	0	0.0%
PERU	0	0.0%
PARAGUAY	0	0.0%
TOTAL	20	100.0%

